

プロフィール

あましんの歩み

大正	1921年 6月	「有限責任 尼崎信用組合」創業。初代組合長に小森純一就任。	6月	明石市に営業地区拡張。	
	1922年 1月	第一回通常総会を西本町市立図書館で開く。	7月	金沢信用金庫、兵庫信用金庫などと次期勘定系システムの共同アウトソーシング会社「(株)信金西日本ソリューションセンター」設立。	
昭和	1930年 1月	第二代組合長に榎本武平就任。	2007年 1月	新オンラインシステム稼働。	
	5月	新本部事務所（現在、世界の貯金箱博物館）竣工。	4月	生体認証（指静脈）ICキャッシュカード取扱開始。	
	1935年12月	第三代組合長に小森貞治郎就任。	6月	あましん「おかね寺子屋」開講。	
	1944年 5月	第四代組合長に松尾高一就任。	2008年 9月	反社会的勢力に対する基本方針を制定。	
	1950年12月	発祥地の赤レンガ事務所を尼崎信用組合記念館とする。	2009年 6月	利益相反管理規程を制定。	
	1951年 8月	伊丹市・川辺郡川西町・同長尾村・同宝塚町に営業地区拡張。	2010年 1月	金融円滑化管理方針、金融円滑化管理規程並びに金融円滑化業務細則（金融円滑化マニュアル）の制定。	
	10月	信用金庫法により「尼崎信用金庫」に改組。	7月	兵庫県と「尼崎21世紀の森づくりの推進に関する協定」を締結。	
	1952年 1月	「尼信だより」創刊。	11月	尼崎産業界、尼崎市とともに「ECO未来都市・尼崎」を共同宣言。	
	1956年 7月	大蔵省の要請で第一貯蓄信用金庫（大阪）の再建整備に当たる。	2011年 9月	「あましんグリーンプレミアム」を創設。	
	1964年 6月	日本銀行蔵入代理店業務の取扱開始。	10月	「創業90周年記念 尼崎21世紀の森 あましん植樹祭」を開催。	
	1965年 3月	第一貯蓄信用金庫を吸収合併。営業地区が大阪市一円に拡張。	2012年 2月	「環境方針」を制定。「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21世紀金融行動原則）」に署名。	
	1966年12月	西宮市・芦屋市・猪名川町に営業地区拡張。	6月	当金庫の地域貢献活動（あまちゃん・しんちゃんプロジェクト）が第15回信用金庫社会貢献賞において「Face to Face賞」を受賞。	
	1967年 4月	創業45周年を記念して尼崎市へ「憩の森」を贈る。	2013年 8月	近畿財務局から「海外子会社への直接融資」の認可取得。	
	1969年 8月	豊中市・池田市・箕面市に営業地区拡張。	2014年 6月	会長に橋本博之、理事長に川上利之就任。	
	1970年10月	吹田市・摂津市・豊能郡に営業地区拡張。	9月	尼崎市と「市内企業の海外展開支援に関する連携協定」を締結。	
	1971年 9月	神戸市生田区・葦合区・灘区・東灘区・茨木市・高槻市に営業地区拡張。	2015年 2月	尼崎市・尼崎商工会議所と「尼崎市における創業支援に関する連携協定」を締結。	
	1972年11月	東大阪市に営業地区拡張。	2016年 2月	新産業創造研究機構、近畿高エネルギー加工技術研究所と「中小企業に対する技術支援に関する連携協定」を締結。	
	1973年 6月	日本銀行との貸出取引開始。理事長に松尾尚三郎就任。	3月	環境保全活動「あましん緑のプロジェクト」環境省21世紀金融行動原則の「グッドプラクティス」に選定。	
	9月	三田市、神戸市兵庫区ほか4区、守口市、門真市、八尾市、大東市に営業地区拡張。	6月	理事長に作田誠司就任。	
	1974年 3月	理事長に氏平競重就任。	8月	信金初 国際協力機構（JICA）と「業務連携・協力に関する覚書」を締結。	
	4月	浪速信用金庫と合併し、「尼崎浪速信用金庫」誕生。堺市・松原市・藤井寺市・羽曳野市・富田林市・大阪狭山市・美原町・河内長野市・柏原市・寝屋川市・四条畷市・高石市・泉大津市・和泉市に営業地区拡張。	2017年 3月	「あましんグリーンプレミアム」が信金初の環境省21世紀金融行動原則「環境大臣賞」を受賞。	
	1977年10月	外貨両替業務取扱開始。	9月	お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組方針を策定・公表。	
	1978年 1月	財団法人尼信地域振興財団設立。	10月	「技術・経営力評価制度（大阪版）」取扱開始。	
	1982年 2月	外国為替公認銀行として外国為替業務開始。	2018年 4月	尼崎市、尼崎商工会議所などと「尼崎市における事業承継支援に関する連携協定」を締結。	
	11月	かなめ会発足。	6月	「あましんグリーンプレミアム」が第21回信用金庫社会貢献賞において「Face to Face賞」を受賞。	
	1984年 1月	外国為替業務総合オンラインシステム稼働。	2019年 3月	特殊詐欺被害の未然防止に向けた「啓発ビデオ」を制作。	
1987年 4月	外国為替コルレス業務取扱開始。	令和	10月	「あましんSDGs宣言」を制定し表明。	
1988年 3月	預金量1兆円突破。尼信保証(株)設立。		2021年 4月	尼信会館で地産地消のクリーンエネルギー使用開始。	
平成	1989年 4月		金庫名称を「尼崎信用金庫」に改称。新本店竣工。	12月	東京海上日動火災保険株式会社と「お取引先へSDGsを普及・促進するための連携協定」を締結。
	1990年 5月		三木市・枚方市に営業地区拡張。	2022年 1月	芦屋市と「豊かな地域社会と安心して暮らせる地域づくりに関する包括連携協定」を締結。
	12月		融資量1兆円突破。本店別館に「世界の貯金箱博物館」開館。	5月	神戸大学と地域の持続的成長に向けた共同研究を開始。
	1992年 2月		会長に氏平競重、理事長に川口章就任。	6月	作田理事長が信金中央金庫理事、近畿地区信用金庫協会会長に就任。「あましん緑のプロジェクト」が第25回信用金庫社会貢献賞において「Face to Face賞」を受賞。
	1994年 5月		吉川町・岸和田市・忠岡町に営業地区拡張。	7月	当金庫ホームページに<360°VIRTUAL TOUR>を開設。令和4年度「ESG地域金融促進事業」の支援先機関として採択。
	1995年 1月		阪神・淡路大震災義援金に総額1億円を寄贈。同被災者特別融資取扱開始。	10月	日本格付研究所（JCR）から前年に引き続き「A」（シングルAフラット）の格付を取得。
	1997年 3月		あましんホームページ開設。「尼崎市地域貢献活動賞」受賞。	11月	「出張！世界の貯金箱博物館」を開催。
	9月		「あましんサクセスネットワーククラブ」発足。	12月	第12回「あましんグリーンプレミアム」授賞式を開催。
	12月		預金量2兆円突破。パソコンネットワークシステムを営業店に拡大。	2023年 1月	高校生向け金融教育「あましん金融経済教育セミナー」を開講。
	1998年 7月		篠山町・丹南町・今田町・東条町・社町に営業地区拡張。	2月	がんばれ阪神タイガース定期預金「虎魂帰帰」新規取扱開始。兵庫県「尼崎21世紀の森SDGs賞」を受賞。「紺緞褒章」を受章。
	1999年 1月		理事長に橋本博之就任。がんばれタイガース定期預金「強虎元年」新規取扱開始。	3月	大阪・関西万博に「共創パートナー」として参画。
	4月		理事会直結の法務室を設置し、法令等遵守体制を強化。	4月	「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」提言への賛同・開示。「有料職業紹介事業」の許可取得。信金で初めて「海外ビジネス支援パッケージ」に参画。
	6月		篠山市に営業地区拡張。		
	2000年 4月		「あましん元気Aクラブ」発足。		
	5月		「あましんフリーダイヤル相談コーナー」新設。出資金100億円突破。		
	2001年 6月		創業80周年記念事業の一環として、尼信会館オープン。		
	7月		「業種別審査スペシャリスト」養成研修スタート。		
	2002年 3月		がんばれ阪神タイガース定期預金「勝星77」新規取扱開始。関西西宮信用金庫の事業譲受。		
	4月		信金初の「CRMS21」を全店で本格稼働。		
	2003年 5月		ビジネスインターネットバンキングサービスを開始。		
	7月		あましん経営相談コーナーを新設。		
	2004年12月		信金初の証券仲介業務開始。		
	2005年 3月		個人情報保護宣言（プライバシーポリシー）公表。		
	7月		業種別審査体制へ移行。		
	2006年 3月	加東市に営業地区拡張。			
	4月	尼崎信用金庫行動憲章を制定。			